

5月の連休で三男とカンボジアに行き、シェムリアップ周辺とトンレサップ湖を見た。朽ちかけた石のヒンズー教と仏教寺院の歴史を学んだ。東南アジアをかつて支配したクメール民族の誇りを感じさせる口調で説明したガイドのビジェットさんから、日本人の学校教育の援助に対する感謝を頂いた。同胞の働きに頭が下がる思いだった。

トゥクトゥク(バイクタクシー)に免許はなく、飲酒運転も認められ、1日数件の死亡事故も止む無しとされる。世界遺産の庭で、裸足で遊びながら物乞いする子ども達の目の輝きに惹かれた。小学校卒業が6割しかない反面、英語や中国語を学ぶ塾が随所にあり、高額な費用を支払いながらも子どもを通わせている。日本に無い混沌と貧困と自由と明るさを感じた。今から10年後にもう1度見てみたい国だと思った。

私は今のうちに東南アジアやアフリカを是非見て回りたいと思う。現地の人から直接話を聞いてみたい。それは今の私の生活を見つめ直す良い機会だと思うから。

ハーブ内科皮フ科 理事長 竹内 秀俊

頭の体操コーナー ※くもん学習療法を「頭の体操」と呼んでいます。



ハーブで学習療法を取り組まれていらっしゃる利用者様の中で最高齢は N.H 様です。現在 99 歳になられます。『私にできるかなあ〜』と言われながらもいつも大きな声で教材を読んで下さり楽しく頭の体操に取り組まれてます。

『小さいころから勉強が大好きで一生懸命やったんだよ。本当は女学校に行きたかったんだけど…。18歳で嫁にきたんだ』と話して下さいました。

なかなか普段おしゃべりしない方でも、頭の体操時に昔のことなど語って下さると、私たちも嬉しくなります。学習療法は声を出すことによって職員や他の利用者様とコミュニケーションをとることを大切にしています。これからもみなさんとお話をしながらいい顔が見られるのを楽しみにしています。

【運動療法デイサービス】



レクリエーションのマンネリ化を防ぐため、今までにないゲームを考案中です。最近とり入れた“タイムセール”もその1つです。2人1組になり、スーパーの袋に野菜に見立てたラップの芯やお手玉、缶ビールなどを時間内にできるだけ重く入れたチームが勝ちです。昔とった杵柄で女性は強いです。みなさん何十年前の主婦の顔になり、輝いていました。これからも新しいゲームに乞うご期待！！

【ケアマネージャー】

「ケアマネって何？ 何をするの？」と、介護に関わったことのない友人からよく聞かれます。ケアマネという職種は未だ介護に関わったことがない方には耳慣れない職種のようなです。介護保険が始まった当初は「とりあえずケアマネを決めてくださいと言われたから」という依頼がほとんどでしたが、近年は「知り合いからハーブを勧められた」「以前、身内が世話になった。またお願いしたい」など、いわゆるリピーター依頼が増えています。有難く幸せを感じています。これからもお一人お一人との出会いを大切にしていきます。

介護でお困りの事がありましたら、ぜひ声を掛けてください。

学習療法の効果や、ハーブでの取り組みをホームページで紹介しています。ぜひご覧ください。

ハーブ内科 検索

発行元: (医)ハーブ内科皮フ科 / (株)ハーブライフケア
〒470-2206 知多郡阿久比町横松宮前 67
TEL 0569-49-2752 / FAX 0569-49-2753